

横須賀美術館が「BCS賞（建築業協会賞）」を受賞 ～ 名実ともに日本を代表する建築物に ～

横須賀美術館が、第 49 回 BCS 賞（建築業協会賞）を受賞し、表彰式が 11 月 19 日にパレスホテル（東京都千代田区）で行われました。

BCS 賞は、その時代を代表するわが国の優秀な建築作品に与えられます。デザイン面だけでなく、建築の企画、設計、施工、維持管理などに関する総合評価に基づいて選考されるもので、建築主、設計者、施工者の 3 者が表彰されます。

横須賀美術館は、谷戸状の地形に、建物の半分を地下に埋め込み、地上部分をガラスと鉄板のダブルスキンで覆い、明るく開かれた内外空間をつくり出すことに成功した点が評価され受賞しました。

美術館は、昨年の神奈川建築コンクールの一般建築部門最優秀賞に続き、2 年連続で建築の賞を受賞し、名実ともに日本を代表する建築物となりました。

- 1 主 催 社団法人 建築業協会
- 2 選考の対象 国内で建築された、使用開始後 1 年以上を経過した優良な建築物
- 3 選考委員 法政大学教授・富永 讓氏 ほかに 11 名
- 4 受賞作品 応募総数 59 作品のうち、横須賀美術館 ほかに 14 作品
- 5 参 考 過去における横須賀市の受賞
 - ・昭和 63 年 市民休養村「はまゆう山荘」
 - ・平成 18 年 市立横須賀総合高等学校

*主催者のホームページ <http://www.bcs.or.jp/prize/index.html>